

富士山の女神

浅間神から仙元大菩薩へ

これは富士山の女神である「浅間神」の像のうち、現存する最古の作品の複製です。11世紀に彫られたこの木像の原物は、ここから西北西方向に車で90分ほど離れた南アルプス市内の江原浅間神社に祀られています。

この像については未だ多くのことが不明のままです。像には、それぞれ浅間神を模った女性三体と、その中央に立つ仏一体が彫られています。この仏は医をつかさどる仏、薬師如来の可能性がありますが、像の特徴からそれを判断することはできません。浅間神が三人として表されている理由も不明です。